

# ろうばいの郷 (群馬県安中市)

ろうばいの郷は、地元の農家のかたが遊休農地に蠟梅(ロウバイ)の木を植えたことから始まり、現在では約3.2ヘクタールの敷地内に1,200株・12,000本のロウバイを有する、群馬県内にあるロウバイの名所である。例年開花時期に合わせ、1月上旬頃から2月中旬頃まで期間限定で開園する。青空の下、黄金色に染まった園内は、ロウバイの甘い芳香が漂い、訪れた人を幸福な気持ちにさせてくれる。

「ロウバイ」という名は、花の色や光沢が蜜蠟(みつろう)を連想させること、陰暦の12月を意味する「臘月」に咲くことなどに由来する。また、江戸時代前期に中国から渡来したことから、「唐梅」(からうめ)、「南京梅」(なんきんうめ)の別名もある。花の少ない時期に咲く、梅、ロウバイ、水仙、山茶花の4つの花をさす雪中四友(せっちゅうしゅう)のひとつとされ、冬の庭木に「迎春花」として珍重された。

ロウバイは、古くから和歌や画題としても人々に親しまれたきた。

蠟梅や 雪うち透す 枝のたけ

芥川龍之介が、厳しい寒さのなか真っ先に花を咲かせ春を呼ぶロウバイの魅力に心打たれ詠んだ一句である。

冬の冷たい風が吹く今日この頃、一足早く春を探しにろうばいの郷へ行ってみよう。

<参考>

ろうばいの郷

<http://www.roubai.com/>

安中市「ろうばいの郷」

[https://www.city.annaka.lg.jp/kanko\\_spot/roubai.html](https://www.city.annaka.lg.jp/kanko_spot/roubai.html)



(表紙の写真)

ろうばいの郷

場所：群馬県安中市



<アクセス>

●JR西松井田駅からタクシーで約10分

●上越自動車道松井田妙義ICから車で約20分